

大会注意事項

1. 競技規則および方法

- 1) 試合時間は、10分-2分-10分-10分-10分-2分-10分とする。同点の場合は1分の後に3分の第1延長を行う。第2延長は第1延長終了時のコート上の競技者により、各チーム1本ずつフリースローを行い、同じ回で成功・不成功となった時点で成功したチームの勝ちとする。
- 2) 前試合との間隔は、10分間とする。

2. ユニフォーム

- 1) 組み合わせの番号の若いチームは、ユニフォームは淡色(白)。
- 2) ユニフォームのパンツの丈は、ひざ上まで(膝頭にかかってしまうものは不可)とし、この項に違反している選手は、出場できない。

3. Tシャツ・アンダーガーマント等について

- 1) Tシャツの着用は認めない。
- 2) ユニフォームのパンツの下にアンダーガーマント・パワータイツなどをはいてもよいが、パンツからはみ出してはいけない。
- 3) ユニフォームからはみ出してしまうサポーター様のものは、下肢部のものは膝下まで、大腿部のものは膝上までのものでなければならない。
- 4) その他、現行の(公財)日本バスケットボール協会競技規則第4条を参照のこと。

4. ベンチエントリー

- 1) ベンチ入りしたコーチは、JBA 公認コーチ証を必ず首から下げる。また、選手ではないスタッフは、連盟の定めるスタッフ証を必ず首から下げる。
- 2) 前の試合のハーフタイムまでに競技委員席に用意されたスコアシートにメンバーを直接記入すること。第1試合のチームは、試合開始20分前までにメンバーをスコアシートに記入すること。

5. TOは組み合わせ表に記載されている通り。

6. 不正登録(出場資格がない選手・未登録選手・二重登録)

- 1) 試合開始前に確認した場合
大会当日、メンバー表(スコアシート)の記入が済み、提出完了時に発覚した場合は、没収試合とし、当該チームを失格とする。
- 2) 試合中および試合終了後に発覚した場合、理由の如何を問わず没収試合とする。

7. 棄権

- 1) 試合開始時刻に遅刻すれば理由の如何を問わず没収試合とする(開始予定時刻から15分で判断)。本規定は第一試合オフィシャルの担当チームにも適用する(オフィシャルは定刻)。この確認は大会責任者(埼玉県社会人バスケットボール連盟オーバーエイジ担当)が行う。
- 2) 止むを得ず棄権をする場合は、試合当日の3日前までに大会要項問い合わせ先に連絡すること。

- 3) 止むを得ず棄権をする場合でも、当該チームに割り当てられているオフィシャルは必ず担当すること。棄権でゲームが無くなった相手チームも割り当てられているオフィシャルを担当すること。

8. コートの準備および後片づけ

- 1) コートの準備は第一試合の両チームが試合開始1時間前に集合し、互いに協力して行う。
- 2) 準備範囲は自チーム側ベンチ・リングの設置とする。オフィシャル席・得点板は両チームで行う。
- 3) 最終試合後は最終試合の両チームで協力してベンチ・リング・シート・コード等の片づけとコートの清掃を行う。また、両チーム代表者とコート責任者（競技委員）で体育館内（フロア・観客席・）の点検を行う。
- 4) 当該最終試合担当のオフィシャルは、オフィシャル用具・椅子・机・得点板等を片づける。
- 5) 準備・後片づけを怠った場合コート責任者（競技委員）がこれを確認し、罰則を適用する。

9. その他

- 1) 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会倫理規定を遵守のこと。
- 2) 大会に於ける練習及び試合中に発生した不慮の事故等については、個人の責任とし、各自スポーツ傷害保険等には必ず加入し、健康保険証を持参のこと。
- 3) 持ち物の管理、ゴミの始末、会場の清掃は、各チームで責任を持って行うこと
- 4) アリーナにはお子様は入れません。試合中であっても必ず付き添いをつけ各チームとも十分に注意すること。
- 5) 試合が行われている時のアリーナ内でのボールを使った練習は禁止とする。
- 6) 指輪、ネックレス、ピアス、ピン止め等の金属類は、ゲームの時は必ず外す。外せないときは、必ずテーピング等をする。
- 7) 指の爪を切る。

10. 上記以外は、2018～公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に基づく。

以上